

芝浦工業大学ロボット研究室研究交流プログラム[受入] 韓国

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年02月15日 ～2024年02月27日	日本	釜山大学校	・電気工学科 ・学部4年生、修士1年生、修士2年生、学部3年生、学部2年生、学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生6名、学生バイト2名、 教員4名 (釜山大学校) 学生4名	吉見 卓(電気工学科) 長谷川 忠大(先進国際課程) 安孫子 聡子(電気工学科) 安藤 吉伸(電気工学科)



セレモニー

コロナ禍後の昨年より、韓国釜山国立大学(PNU)からの受入gPBLを再開した。今回は、2024年2月15日から27日まで、実質8日間のプログラムを実施し、PNUからは4名の学生(博士課程3年学生1名、修士課程1年学生1名、学部3年学生2名)を迎え、SITから6名の学生(学部3年生5名、学部4年生1名)の参加を得て、両大学の学生による移動ロボットの課題解決をテーマとしたプログラムに取り組んだ。その内容としては、日韓学生混合のチームを3チーム設け、ROSを用いた移動ロボットの地図生成、および生成した地図に基づいたナビゲーションを行った。さらに、チームでこの技術が社会にどのように生かせるかを議論した。また、中盤の本学後期入試入構禁止期間は学外活動として、工業用ミシンメーカーJUKI(株)の工場見学および総合電機メーカー(株)東芝の展示施設、東芝科学未来館の見学を実施し、日本の先端的な自動化技術、科学技術に触れて、知見を広げた。最終日は、最終報告会が開催され、全参加学生から本プロジェクトへの取り組みに関する発表が行われた。日韓学生の交流イベントとして実施された、月島もんじゃ焼き体験や夜のお台場ツアーについても紹介があった。その後の閉会セレモニーでは、参加者全員に修了証が授与された。

本プログラムの実施を通して、参加学生は移動ロボット技術に関する知見を広めたが、更に日韓学生の交流、相互理解が進んだことは、もう一つの大きな成果と考える。来年度以後も、同様の内容にて、継続実施していく。



ワーキング



企業見学(東芝)



企業見学(JUKI)



最終発表会



懇親会(もんじゃ焼き)



フリータイム(お台場)